

2021年(令和3年)上期 景気動向調査結果

～製造業、非製造業ともにコロナウイルス感染症の影響が残るものの前期より、大幅に改善～

和歌山商工会議所

- 目 的 : 当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間 : 2021年1月1日から2021年6月30日(2021年(令和3年)上期)
- 調査実施期間 : 2021年7月3日から2021年7月30日
- 調査方法 : 郵送によるアンケート方式
- 調査対象 : 常議員・議員・部会副部会長・女性会・青年部・商工振興委員 530事業所
- 回答数 : 回収数 199 (回収率 37.5%)

業 種		従業員数	0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101人以上	合計
製 造 業			9	15	11	10	14	59
非製造業	建 設 業		6	10	3	3	2	24
	小 売 業		16	5	2	2	4	29
	卸 売 業		7	3	3	5	2	20
	サービス業		20	9	7	3	5	44
	その他業		5	6	4	0	8	23
合 計			63	48	30	23	35	199

● 概 要

2021年上期(1月～6月)の景況感は、製造、非製造業でDI値がマイナス域を脱していない業種もあるが、前回調査(2020年12月)に比べて業況、売上、採算は、大幅に改善となった。今期DI値がマイナスとなっている要因としては、依然として「新型コロナウイルス感染症による影響」が最も多く、「仕入単価、材料費の高騰」や「ウッドショック」等の理由が悪化要因として挙げられた。仕入単価においても全業種でDI値はマイナスとなり、特に、製造業では、直面する課題としても「仕入・原材料単価の上昇」が最大の課題として挙げられており、この要因が、採算にも大きく影響していることが伺えた。前期比において大幅に改善しているとの結果となったが、新型コロナウイルス感染症の影響が払拭されたわけではなく、ワクチン接種による感染者数の減少に期待する声も多かったが、今後も感染者数の推移等、引続きコロナ感染症による影響について注視していかなければならない結果となった。

直面する課題として、製造業、非製造業ともに、前期に引続き「コロナの影響」が挙げられた。製造業では「仕入・原材料単価の上昇」が最も多く、「生産設備の不足・老朽化」も今後の課題として捉えられており、非製造業では、「需要の停滞」や、「従業員・熟練技術者の確保難」が課題となっていることが伺えた。

先行きについては、製造業および非製造業ともに景況感は、今期に比べると改善の見通しが示されている。製造業では、好転要因として「海外経済の回復」や「受注の回復、増加」等、非製造業では、「ワクチン接種率の向上による感染者数の減少」の声が多く寄せられたが、「仕入単価の上昇、材料費の高騰」や「コロナの影響」に対する懸念が悪化要因として挙げられており、コロナの影響が長期化することへの不安感が引続き表れた結果となった。

皆様から寄せられた企業、業界の取組み(抜粋)

●製造業

- ・SDGs
- ・インターネット販売
- ・技能向上、人材育成、人材確保
- ・積極的な営業
- ・製品開発
- ・自動化、システム化

●非製造業

- ・コスト削減
- ・インターネット販売
- ・IT導入による業務効率化
- ・ICT・BIM/CIM
- ・営業強化
- ・製品開発
- ・B to BからB to Cへ
- ・業務の簡素化、効率化

※「DI値」とは

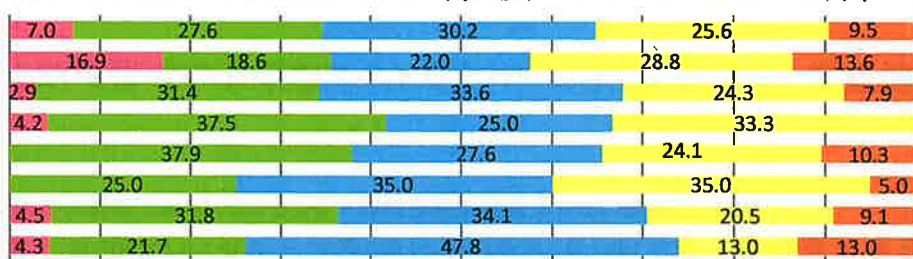
デフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「好転(やや好転を含む)」、「増加(やや増加を含む)」、「上昇(やや上昇を含む)」したとする企業割合から、「悪化(やや悪化を含む)」、「減少(やや減少を含む)」、「低下(やや低下を含む)」したとする企業割合を差引いた値。

今期(2021年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 ▲0.5 前期比 48.6)
製造業	(今期 ▲6.8 前期比 54.3)
非製造業	(今期 2.1 前期比 47.2)
建設業	(今期 8.3 前期比 45.8)
小売業	(今期 3.4 前期比 49.1)
卸売業	(今期 ▲15.0 前期比 31.2)
サービス業	(今期 6.8 前期比 56.0)
その他業	(今期 0.0 前期比 40.0)

(業況)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

今期(2021年1月～6月)の状況

製造業で▲6.8(前期比54.3)、非製造業で2.1(前期比47.2)、全業種で▲0.5(前期比48.6)となり、非製造業では、卸売業以外はプラスに転じ、前期比では全業種で大きく改善した。

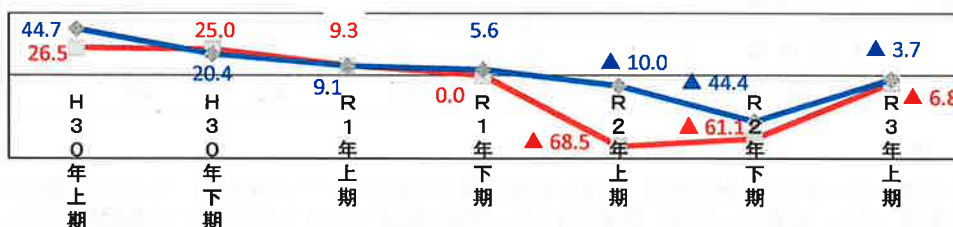
全業種において、マイナス値となっているものの「前年の新型コロナウイルス感染症による影響が大きすぎた為、回復している」や「市況好転」、「受注の回復」等の要因により、大幅に改善。非製造業では、プラスに転じた。前期に比べ大幅に改善となるも、改善しているが、「新型コロナウイルス感染症による影響」や「仕入単価、材料費の高騰」「ウッドショック」等の理由により悪化したとの回答も大差がなかった。

※前期比とは、前回調査(令和2年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

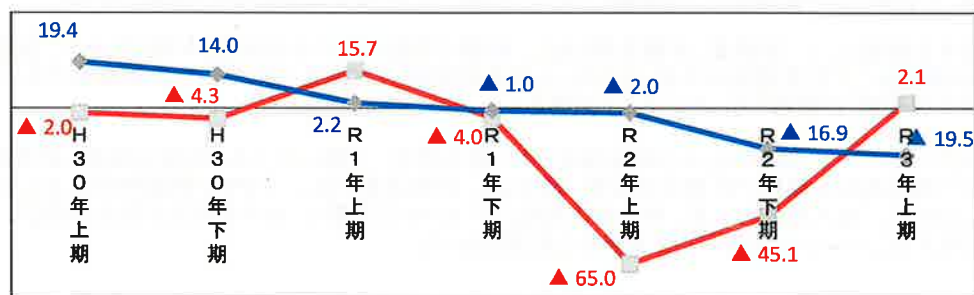
製造業

● 今期のDI値
● 前期調査時点での今期見通し



非製造業

● 今期のDI値
● 前期調査時点での今期見通し

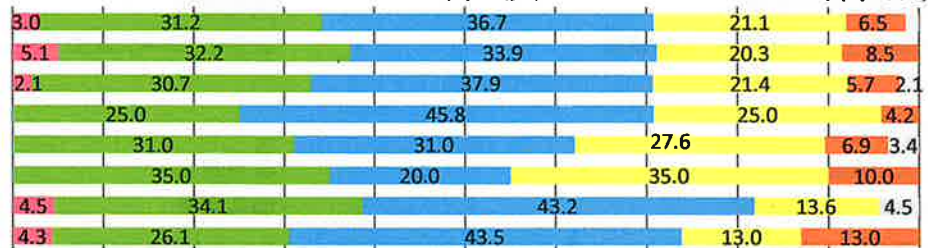


来期(2021年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(見通し 6.5 今期比 7.0)
製造業	(見通し 8.5 今期比 15.3)
非製造業	(見通し 5.7 今期比 3.6)
建設業	(見通し ▲4.2 今期比 ▲12.5)
小売業	(見通し ▲3.4 今期比 ▲6.9)
卸売業	(見通し ▲10.0 今期比 5.0)
サービス業	(見通し 25.0 今期比 18.2)
その他業	(見通し 4.3 今期比 4.3)

(業況)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

今期と比較した来期(2021年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期見通しDI値は、製造業では15.3ポイント改善の8.5、非製造業では3.6ポイント改善の5.7、全業種で7.0ポイント改善の6.5と見通している。製造業の好転、やや好転要因として、「海外市場の回復」、「市況好転」等が挙げられた。非製造業の同要因としては、「受注の回復」や「新型コロナワクチン接種による感染者の減少」への期待感が大きく、来期は改善の見通しとなるも、悪化要因として、引き続き「新型コロナウイルス感染症による影響」や「仕入単価、材料費の高騰」「ウッドショック」等への懸念が伺えた。

今期(2021年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 6.5 前期比 57.4)
製造業	(今期 8.5 前期比 71.5)
非製造業	(今期 5.7 前期比 52.7)
建設業	(今期 8.3 前期比 45.8)
小売業	(今期 20.7 前期比 77.8)
卸売業	(今期 0.0 前期比 50.0)
サービス業	(今期 ▲2.3 前期比 43.5)
その他業	(今期 4.3 前期比 44.3)

(売上)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期(2021年1月～6月)の状況

売上DI値は、製造業で8.5(前期比71.5)、非製造業で5.7(前期比52.7)、全業種で6.5(前期比57.4)となり、製造業、非製造業とも、前期より大幅に改善しプラスに転じた。

好転、やや好転要因としては、業況と同様に「前年は新型コロナウイルス感染症による影響が大きすぎた為、回復している」との回答もあるが、「市況好転」や「受注の回復」というような消えた需要が戻りつつあることが伺えた。

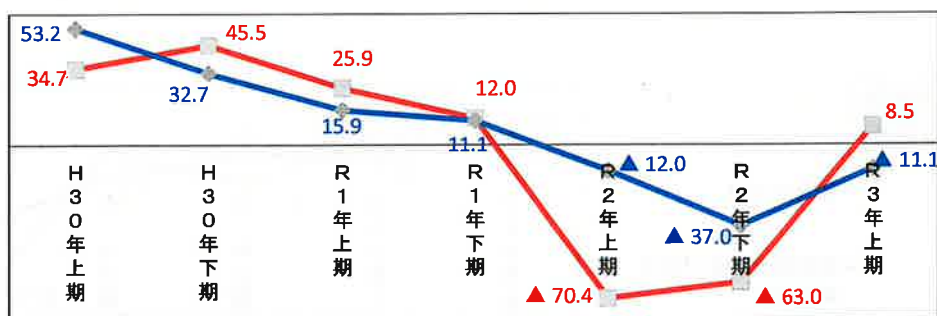
※前期比とは、前回調査(令和2年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

● 実際のDI値

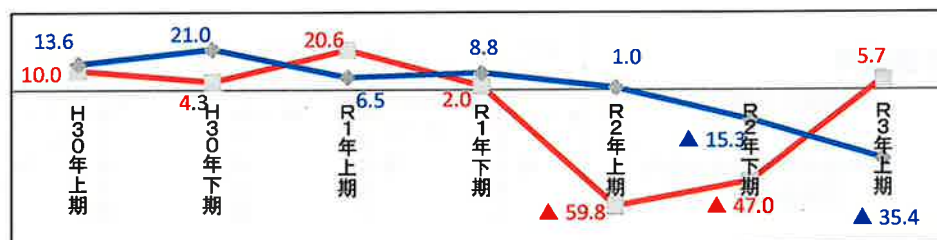
● 前期調査時点での今期見通し



非製造業

● 実際のDI値

● 前期調査時点での今期見通し

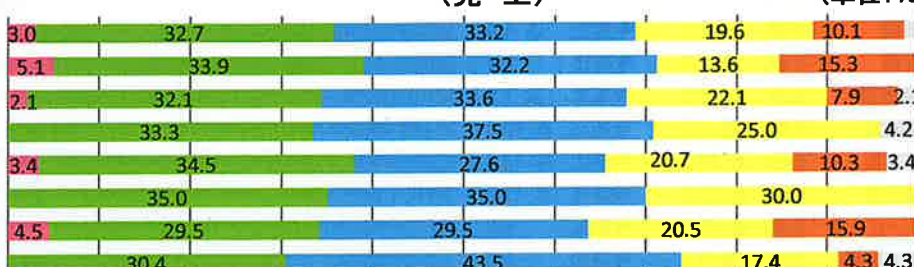


来期(2021年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(見通し 6.0 今期比 ▲0.5)
製造業	(見通し 10.2 今期比 1.7)
非製造業	(見通し 4.3 今期比 ▲1.4)
建設業	(見通し 8.3 今期比 0.0)
小売業	(見通し 6.9 今期比 ▲13.8)
卸売業	(見通し 5.0 今期比 5.0)
サービス業	(見通し ▲2.3 今期比 0.0)
その他業	(見通し 8.7 今期比 4.3)

(売上)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期と比較した来期(2021年7月～12月)の見通し

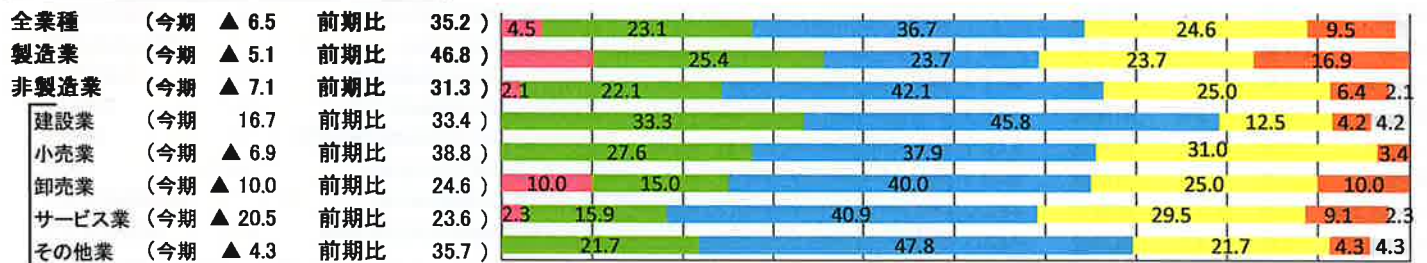
今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で1.7ポイント改善の10.2、非製造業で▲1.4ポイント悪化の4.3、全業種で▲0.5ポイント悪化の6.0と見通している。

製造業、非製造業ともに増加、やや増加要因として、「海外市場の回復」「受注の増加」等が挙げられ、特に製造業では、「海外市場の回復」に期待が寄せられ、非製造業においては、「コロナワクチン接種率の向上による感染者数の減少」が期待され、コロナにより失われた売上の回復を望む結果となった。一方、不安要因として「仕入れ価格の高騰」や「原材料の不足」「ウッドショック」等に懸念が示された。

今期(2021年1月～6月)のDI値

(採 算)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 好転 やや好転 不変 やや悪化 悪化 無回答

今期(2021年1月～6月)の状況

採算DI値は、製造業で、▲5.1(前期比46.8)、非製造業で▲7.1(前期比31.3)、全業種で▲6.5(前期比35.2)とマイナスではあるが、前期より大幅に改善している。

前期よりも、改善した要因として、「海外市場の回復」「受注の回復、増加」等が挙げられ、消えた需要が戻りつつあるものの「新型コロナウイルス感染症による影響」も、依然として払拭できておらず、DI値は建設業を除く全業種でマイナスとなった。悪化要因としては、製造業で直面する課題として最も多かった回答である「仕入れ価格・原材料コストの上昇」や「材料不足」「ウッドショック」等が挙げられ、売上は回復しつつも採算の回復には繋がっていないことが伺えた。

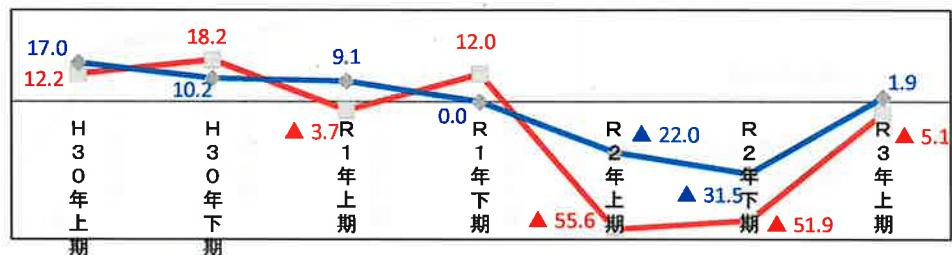
※前期比とは、前回調査(令和2年13月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

—●— 実際のDI値

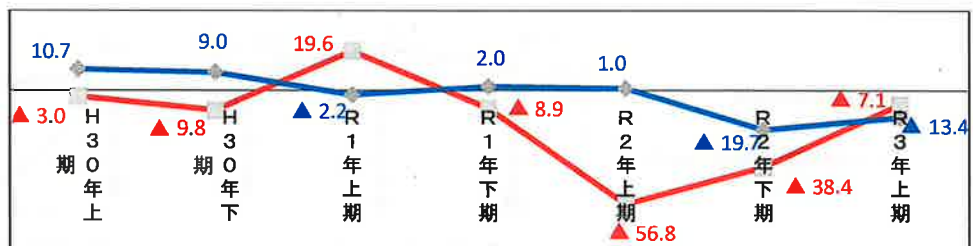
—●— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

—●— 実際のDI値

—●— 前期調査時点での今期見通し



来期(2021年7月～12月)の見通しDI値

(採 算)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 好転 やや好転 不変 やや悪化 悪化 無回答

今期と比較した来期(2021年7月～12月)の見通し

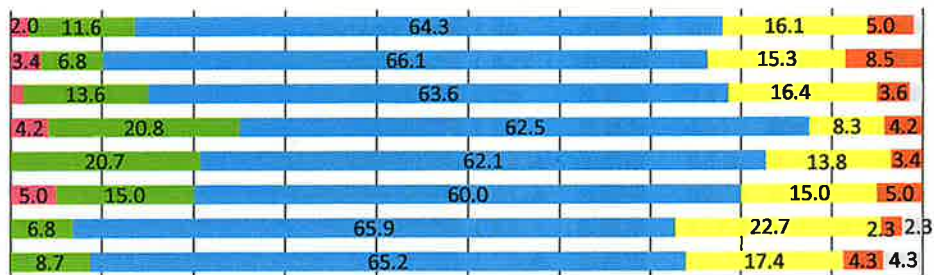
今期と比較した来期見通しDI値は、製造業で3.4ポイント改善の▲1.7、非製造業で▲7.9ポイント悪化の▲15.0、全業種で▲4.5ポイント悪化の▲11.1と見通している。全ての業種において、来期見通しDI値は依然としてマイナス域にとどまっており、「仕入れ価格、原材料費コストの上昇」「ウッドショック」が継続していくことへの懸念や、収束の見通せない「新型コロナウイルス感染症による影響」等により、来期の採算の回復については、厳しい見通しとなった。

今期(2021年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 ▲ 7.5 前期比 9.5)
製造業	(今期 ▲ 13.6 前期比 16.0)
非製造業	(今期 ▲ 5.0 前期比 7.8)
建設業	(今期 12.5 前期比 16.7)
小売業	(今期 3.4 前期比 26.3)
卸売業	(今期 0.0 前期比 0.0)
サービス業	(今期 ▲ 18.2 前期比 ▲ 2.9)
その他業	(今期 ▲ 13.0 前期比 2.0)

(資金繰り)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(2021年1月～6月)の状況

資金繰りDI値は、製造業で▲13.6(前期比16.0)、非製造業で▲5.0(前期比7.8)、全業種で▲7.5(前期比9.5)となった。製造業、非製造業とも全体では改善傾向となっているが、未だマイナス域を脱せず、特に、サービス(飲食業含む)業では悪化しており、厳しい状況が続いている。

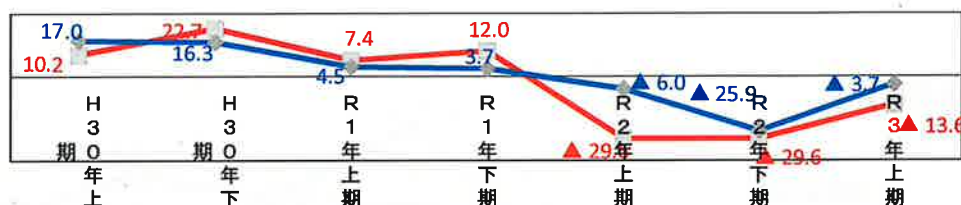
※前期比とは、前回調査(令和2年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

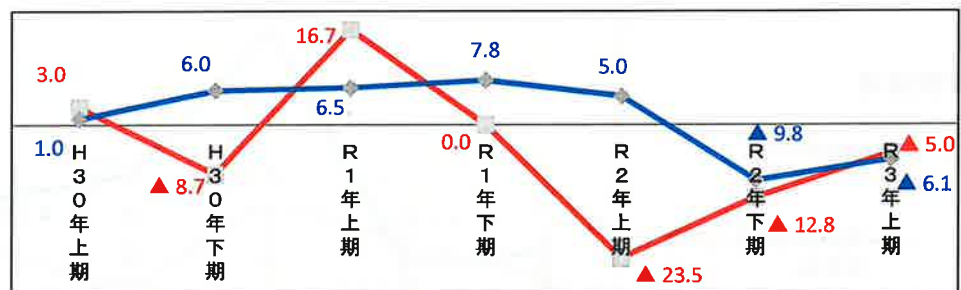
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での今期見通し

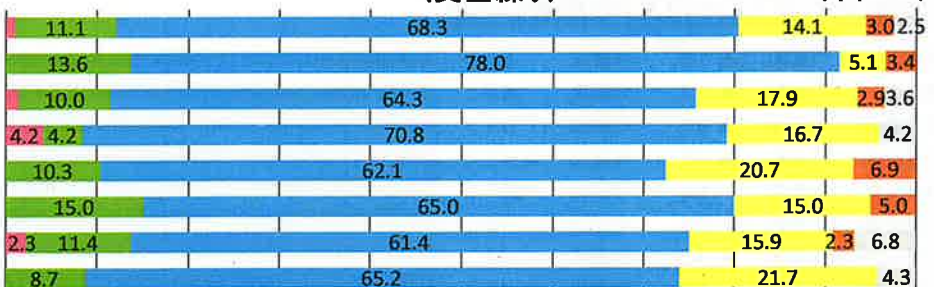


来期(2021年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(見通し ▲ 5.0 今期比 2.5)
製造業	(見通し 5.1 今期比 18.6)
非製造業	(見通し ▲ 9.3 今期比 ▲ 4.3)
建設業	(見通し ▲ 8.3 今期比 ▲ 20.8)
小売業	(見通し ▲ 17.2 今期比 ▲ 20.7)
卸売業	(見通し ▲ 5.0 今期比 ▲ 5.0)
サービス業	(見通し ▲ 4.5 今期比 13.6)
その他業	(見通し ▲ 13.0 今期比 0.0)

(資金繰り)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

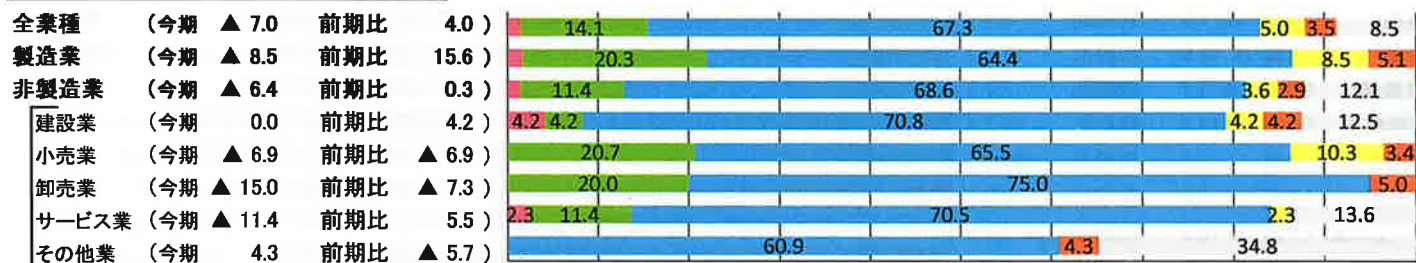
今期と比較した来期(2021年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で18.6ポイント改善の5.1、非製造業で▲4.3ポイント悪化の▲9.3、全業種で2.5ポイント改善の▲5.0と見通している。製造業ではプラスとなり、資金繰りが改善される見通しとなっているが、非製造業では、改善する業種もあるが全体ではマイナスとなり、資金繰りは悪化の見通しとなった。

今期(2021年1月～6月)のDI値

(在庫)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期(2021年1月～6月)の状況

在庫DI値は、製造業で▲8.5(前期比15.6)、非製造業で▲6.4(前期比0.3)、全業種で▲7.0(前期比4.0)となった。製造業では、前期比プラスとなり改善が見受けられるが、マイナス域を脱しておらず、在庫の過剰傾向が伺えた。非製造業では、小売業、卸売業では今期、前期に比べ悪化しマイナス、サービス業では前期比はプラスとなるもマイナスとなり、在庫の過剰傾向が伺えた。

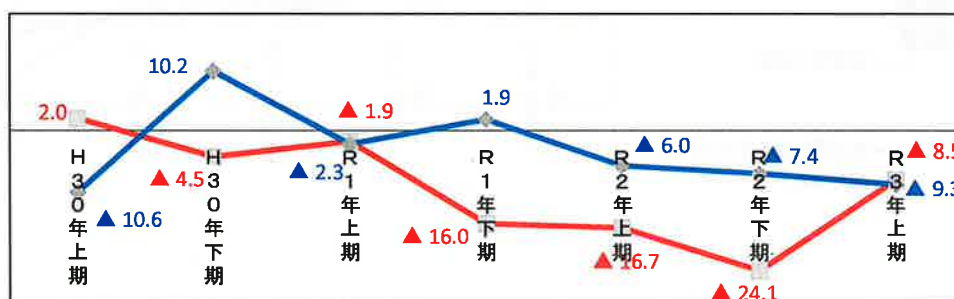
※前期比とは、前回調査(令和2年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

—●— 実際のDI値

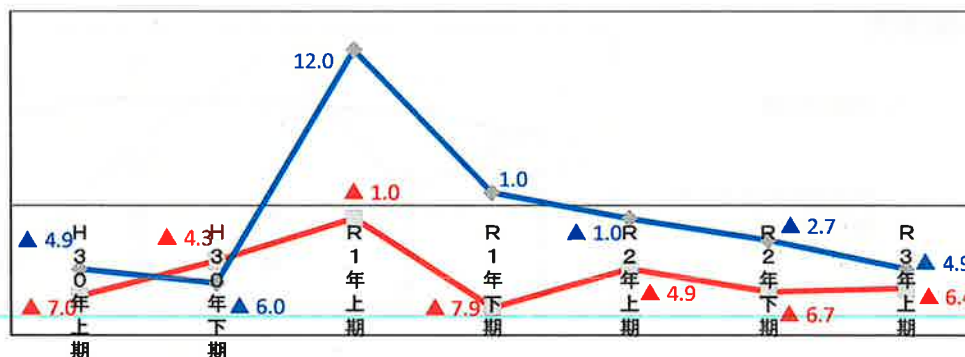
—●— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

—●— 実際のDI値

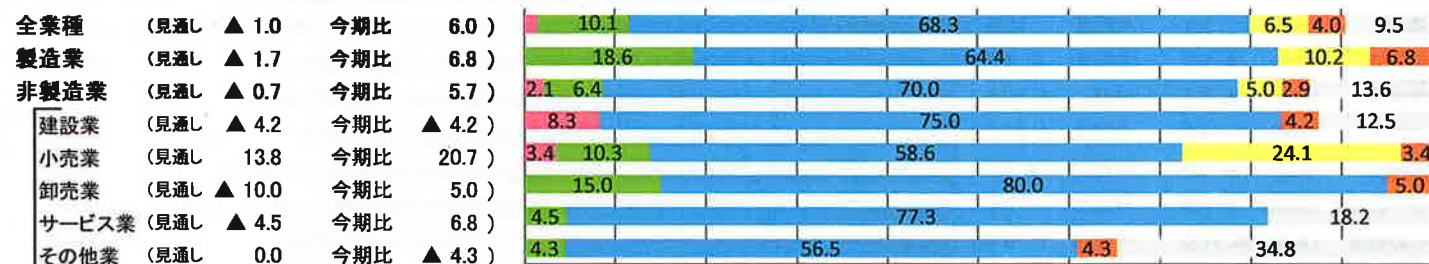
—●— 前期調査時点での今期見通し



来期(2021年7月～12月)の見通しDI値

(在庫)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期と比較した来期(2021年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で6.8ポイント改善の▲1.7、非製造業で5.7ポイント改善の▲0.7、全業種で6.0ポイント改善の▲1.0と見通している。製造業ではマイナスの見通しとなり、非製造業では「建設業」、「卸売業」、「サービス業」でマイナスとなり、やや過剰傾向が続く見通しとなった。

今期(2021年1月～6月)のDI値

(仕入単価)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期(2021年1月～6月)の状況

仕入単価DI値は、製造業で▲69.5(前期比▲63.9)、非製造業▲44.3(前期比▲20.5)、全業種で▲51.8(前期比▲32.5)となった。製造業、非製造業ともに、全業種で大幅にマイナスとなり、仕入単価上昇による影響が大きいことが伺えた。

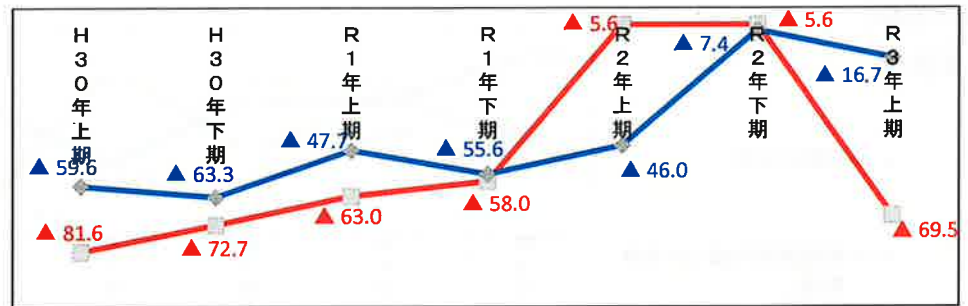
※前期比とは、前回調査(令和2年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

● 実際のDI値

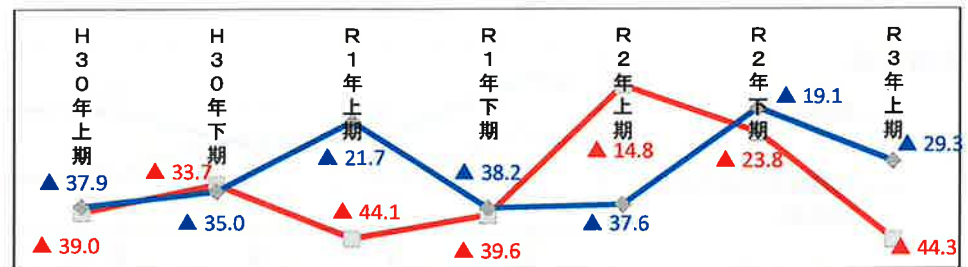
● 前期調査時点での今期見通し



非製造業

● 実際のDI値

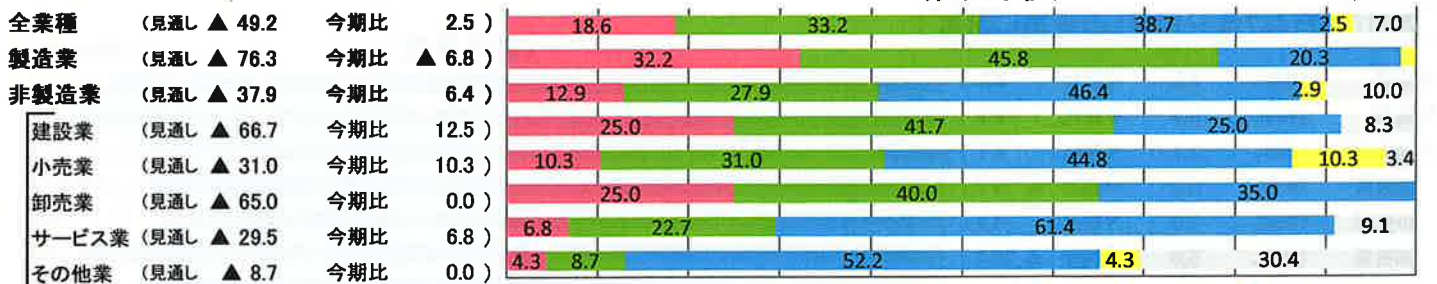
● 前期調査時点での今期見通し



来期(2021年7月～12月)の見通しDI値

(仕入単価)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

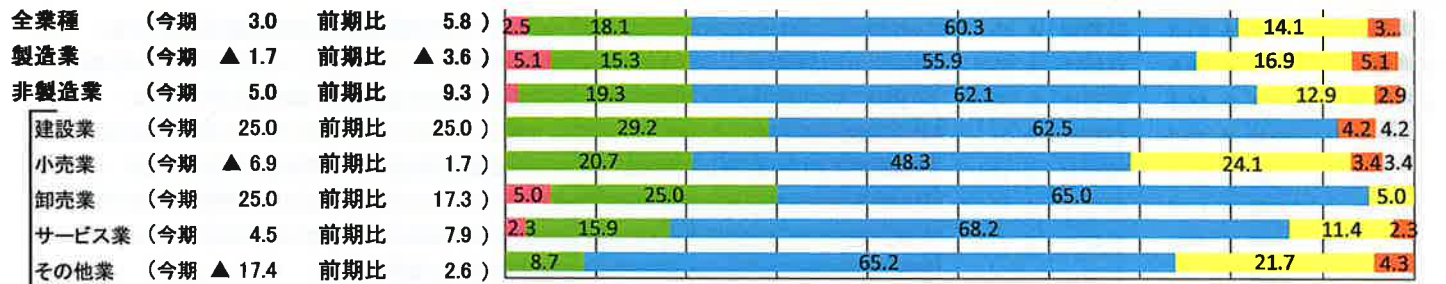
■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期と比較した来期(2021年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で6.8ポイント悪化の▲76.3、非製造業で6.4ポイント改善の▲37.9、全業種で2.5ポイント改善の▲49.2と見通している。製造業、非製造業とも全業種において見通しはマイナスの悪化傾向となり、仕入単価の上昇により今後も厳しい見通しが続く結果となった。

【 従業員数DI値 】

今期(2021年1月～6月)のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

今期(2021年1月～6月)の状況

従業員数DI値は、製造業で▲1.7(前期比▲3.6)、非製造業で5.0(前期比9.3)、全業種で3.0(前期比5.8)となった。
製造業では、前期に比べ3.6ポイント低下しマイナスとなり、減少傾向であることが伺え、非製造業では小売業、その他業を除き今期はプラスとなり、人手はやや増加傾向であることが伺えた。

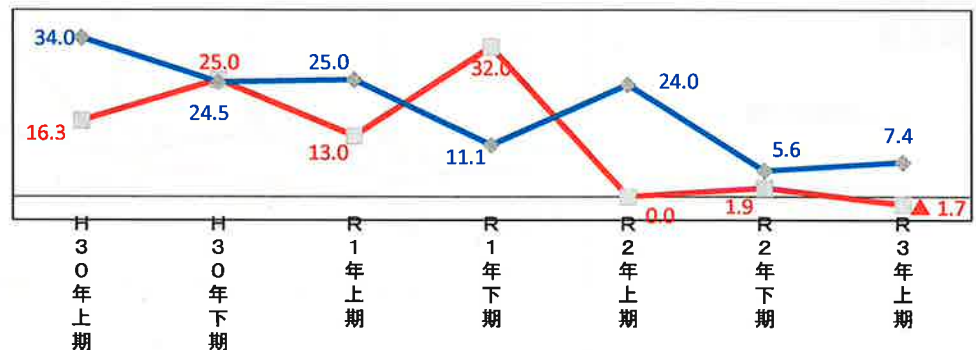
※前期比とは、前回調査(令和2年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

■ 実際のDI値

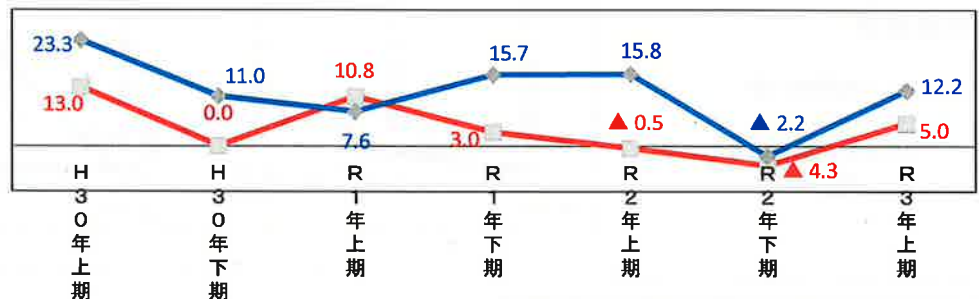
■ 前期調査時点での今期見通し



非製造業

■ 実際のDI値

■ 前期調査時点での今期見通し



来期(2021年7月～12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

今期と比較した来期(2021年7月～12月)の見通し

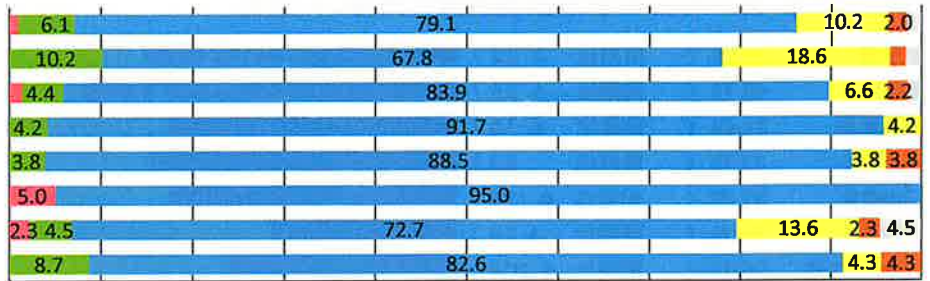
今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で16.9ポイント上昇の15.3、非製造業で2.1ポイント上昇の7.1、全業種では6.5ポイント上昇の9.5と見通している。製造業、非製造業とも、来期は上昇する見通しとなった。

今期(2021年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 5.1 前期比 4.2)
製造業	(今期 10.2 前期比 21.3)
非製造業	(今期 2.9 前期比 ▲2.0)
建設業	(今期 0.0 前期比 ▲12.5)
小売業	(今期 3.8 前期比 ▲10.5)
卸売業	(今期 ▲5.0 前期比 ▲16.5)
サービス業	(今期 9.1 前期比 12.5)
その他業	(今期 0.0 前期比 5.0)

(設備)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期(2021年1月～6月)の状況

設備DI値は、製造業で10.2(前期比21.3)、非製造業で2.9(前期比▲2.0)、全業種で5.1(前期比4.2)となった。
製造業、非製造業、全体でプラスとなり、やや設備不足の傾向にあることが伺えた。

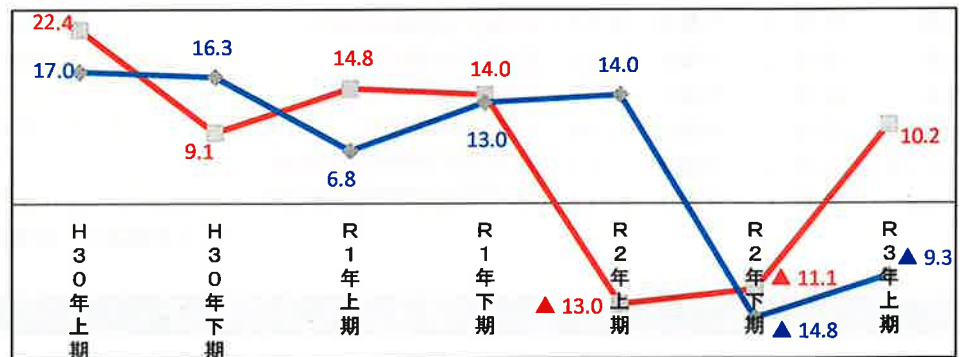
※前期比とは、前回調査(令和2年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

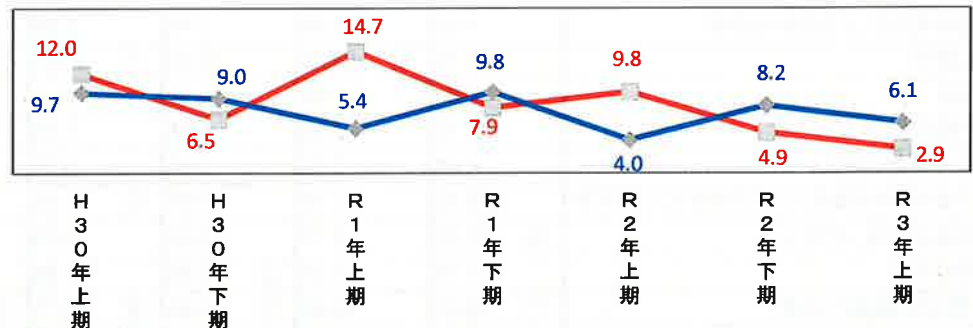
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での今期見通し

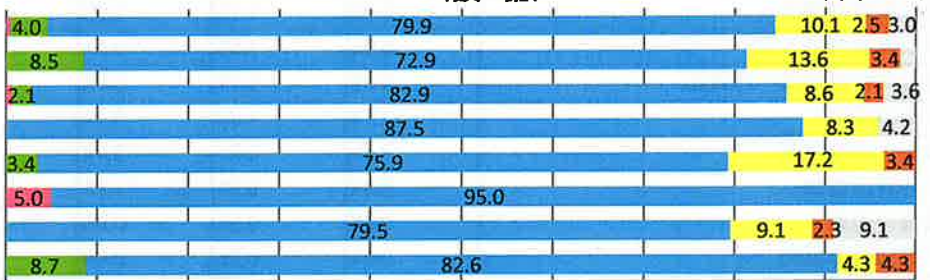


来期(2021年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(見通し 8.0 今期比 2.9)
製造業	(見通し 8.5 今期比 ▲1.7)
非製造業	(見通し 7.9 今期比 4.9)
建設業	(見通し 8.3 今期比 8.3)
小売業	(見通し 17.2 今期比 13.4)
卸売業	(見通し ▲5.0 今期比 0.0)
サービス業	(見通し 11.4 今期比 2.3)
その他業	(見通し 0.0 今期比 0.0)

(設備)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

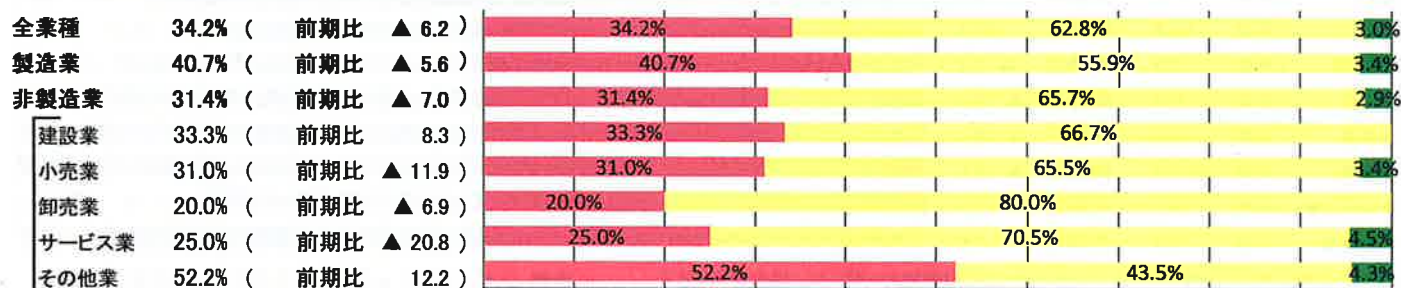
■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期と比較した来期(2021年7月～12月)の見通し

今期と比べた来期の見通しDI値は、製造業で1.7ポイント低下の8.5、非製造業で4.9ポイント上昇の7.9、全業種で2.9ポイント上昇の8.0と見通しており、今期同様やや設備不足の傾向が続く見通しとなった。

【 新規設備投資 】

◆今期(2021年1月～6月)の新規設備投資を実施した割合

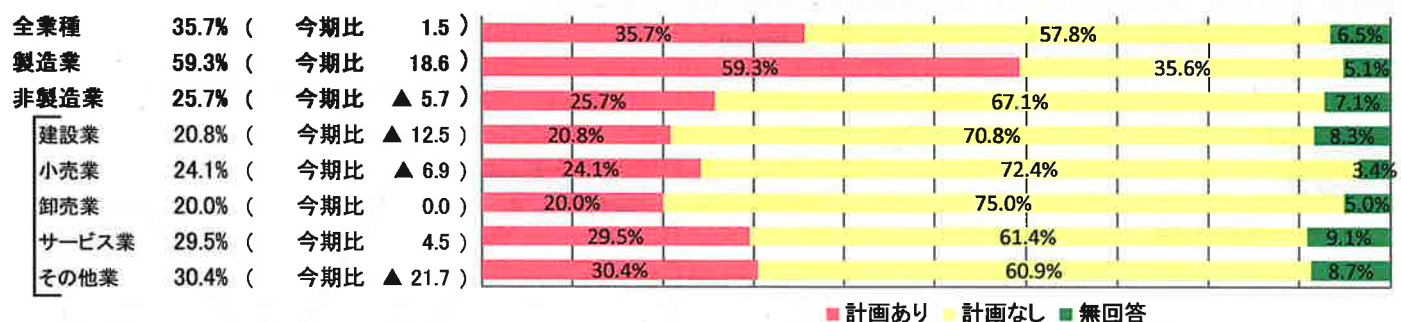


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 行った ■ 行っていない ■ 無回答

※前期比とは、前回調査(令2元年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

◆来期(2021年7月～12月)の新規設備投資を計画している割合



■ 計画あり ■ 計画なし ■ 無回答

【 直面している課題 】

	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	1.9%	3.8%	3.4%	5.6%	6.9%	3.3%	0.0%
需要の停滞	3.7%	① 24.0%	10.3%	① 25.0%	① 31.0%	③ 21.3%	① 35.7%
為替差損	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
売上単価の低下	3.7%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	7.1%
新規参入業者の増加	1.9%	2.7%	3.4%	5.6%	0.0%	1.6%	3.6%
製品(消費者・利用者等)ニーズの変化への対応	18.5%	7.1%	0.0%	③ 13.9%	3.4%	8.2%	7.1%
生産設備の不足・老朽化	③ 22.2%	2.7%	0.0%	8.3%	0.0%	3.3%	0.0%
原材料の不足	11.1%	3.3%	③ 13.8%	2.8%	3.4%	0.0%	0.0%
仕入・原材料単価の上昇	① 50.0%	16.9%	① 44.8%	② 16.7%	① 31.0%	4.9%	0.0%
下請負単価の上昇	1.9%	1.1%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
官公需要の停滞	3.7%	1.1%	3.4%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%
取引条件の悪化	0.0%	1.1%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
金利負担の増加	0.0%	1.1%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
事業資金の借入難	0.0%	1.6%	3.4%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%
購買力の他地域への流出	0.0%	1.1%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	3.6%
在庫の過剰	3.7%	1.6%	3.4%	0.0%	3.4%	1.6%	0.0%
価格への転嫁難	7.4%	3.3%	3.4%	0.0%	6.9%	3.3%	3.6%
人件費の増加	5.6%	9.8%	③ 13.8%	5.6%	6.9%	13.1%	7.1%
設備の過剰	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%
代金回収の悪化	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%
駐車場の確保難	0.0%	2.2%	3.4%	2.8%	3.4%	1.6%	0.0%
店舗・施設の老朽化	3.7%	4.9%	0.0%	8.3%	0.0%	4.9%	10.7%
従業員・熟練技術者の確保難	20.4%	③ 20.2%	② 34.5%	11.1%	10.3%	② 23.0%	② 21.4%
燃料費(電気料金を含む)の高騰	5.6%	3.8%	6.9%	0.0%	3.4%	4.9%	3.6%
コロナの影響	② 29.6%	② 20.8%	③ 13.8%	2.8%	② 17.2%	① 36.1%	② 21.4%
その他	3.7%	4.9%	6.9%	5.6%	6.9%	4.9%	0.0%

参考資料

小規模事業者（従業員：製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下）

※宿泊業および娯楽業は20人以下

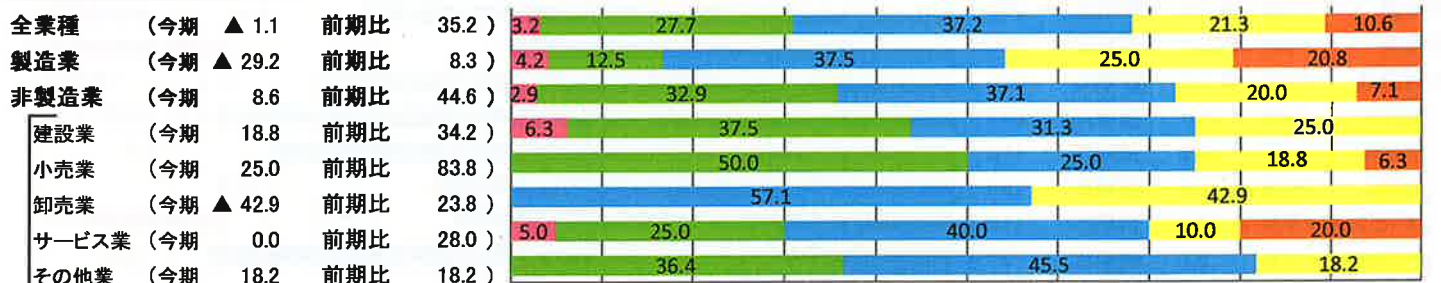
景況調査結果

- 目的：当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間：2021年1月1日から2021年6月30日（2021年（令和3年）上期）
- 調査実施期間：2021年7月3日から2021年7月30日
- 調査方法：郵送によるアンケート方式
- 調査対象：当所管内会員事業所の小規模企業者（従業員数が製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下） 356 事業所 ※宿泊業および娯楽業は20人以下
- 回答数：94（回答率 26.4%）

業種		従業員数		合計
		0～5人	6～20人	
製造業		9	15	24
非製造業	建設業	6	10	16
	小売業	16		16
	卸売業	7		7
	サービス業	20		20
	その他業	5	6	11
合計		63	31	94

業況DI

今期（2021年1月～6月）のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化

来期（2021年7月～12月）の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(2021年1月～6月)のDI値

(売上)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少

来期(2021年7月～12月)の見通しDI値



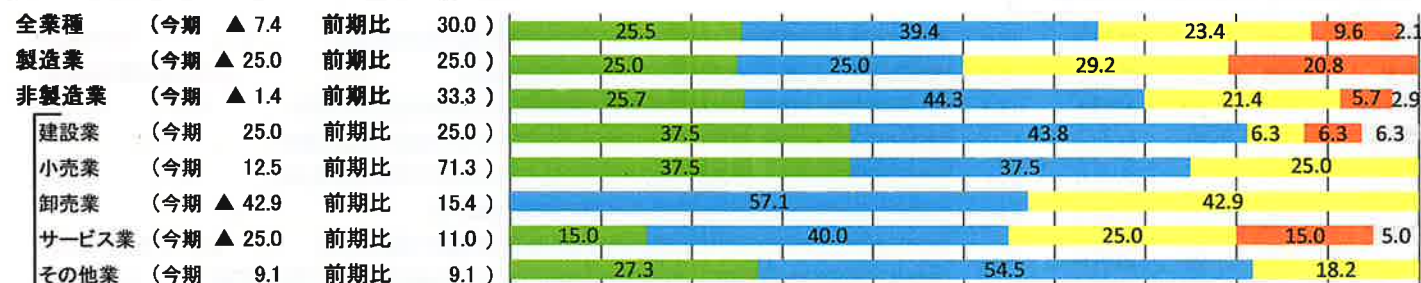
※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期(2021年1月～6月)のDI値

(採算)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

来期(2021年7月～12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

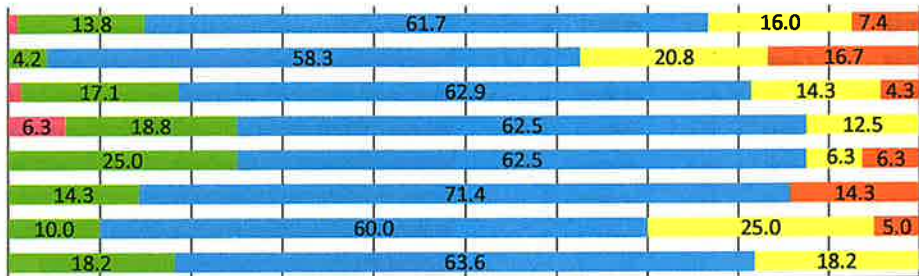
■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(2021年1月～6月)のDI値

(資金繰り)

(単位: %)

全業種	(今期 ▲ 8.5 前期比 2.5)
製造業	(今期 ▲ 33.3 前期比 ▲ 2.0)
非製造業	(今期 0.0 前期比 6.7)
建設業	(今期 12.5 前期比 ▲ 2.9)
小売業	(今期 12.5 前期比 36.0)
卸売業	(今期 0.0 前期比 8.3)
サービス業	(今期 ▲ 20.0 前期比 ▲ 12.0)
その他業	(今期 0.0 前期比 0.0)

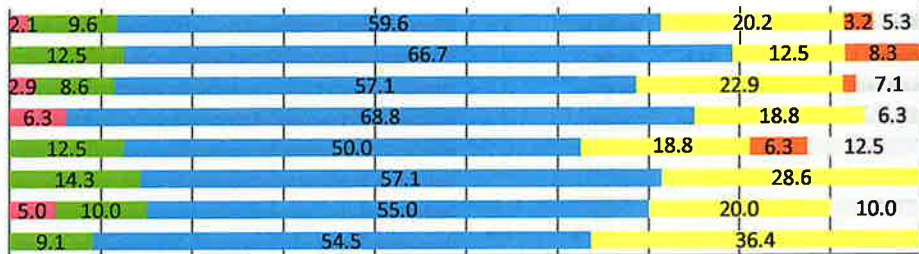


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化

来期(2021年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(来期 ▲ 11.7 今期比 ▲ 3.2)
製造業	(来期 ▲ 8.3 今期比 25.0)
非製造業	(来期 ▲ 12.9 今期比 ▲ 12.9)
建設業	(来期 ▲ 12.5 今期比 ▲ 25.0)
小売業	(来期 ▲ 12.5 今期比 ▲ 25.0)
卸売業	(来期 ▲ 14.3 今期比 ▲ 14.3)
サービス業	(来期 ▲ 5.0 今期比 15.0)
その他業	(来期 ▲ 27.3 今期比 ▲ 27.3)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化

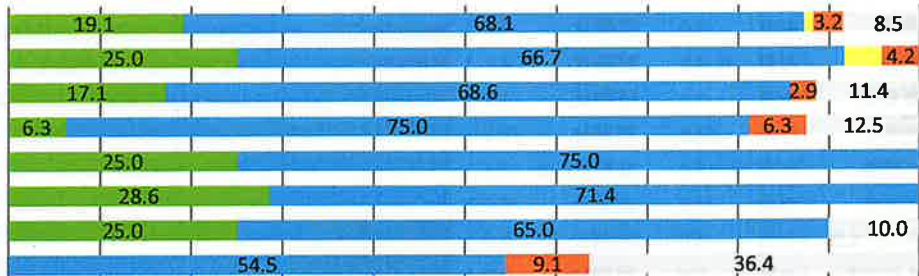
在庫DI

今期(2021年1月～6月)のDI値

(在庫)

(単位: %)

全業種	(今期 ▲ 14.9 前期比 ▲ 8.3)
製造業	(今期 ▲ 16.7 前期比 2.1)
非製造業	(今期 ▲ 14.3 前期比 ▲ 10.3)
建設業	(今期 0.0 前期比 7.7)
小売業	(今期 ▲ 25.0 前期比 ▲ 36.8)
卸売業	(今期 ▲ 28.6 前期比 ▲ 3.6)
サービス業	(今期 ▲ 25.0 前期比 ▲ 17.0)
その他業	(今期 9.1 前期比 ▲ 3.4)

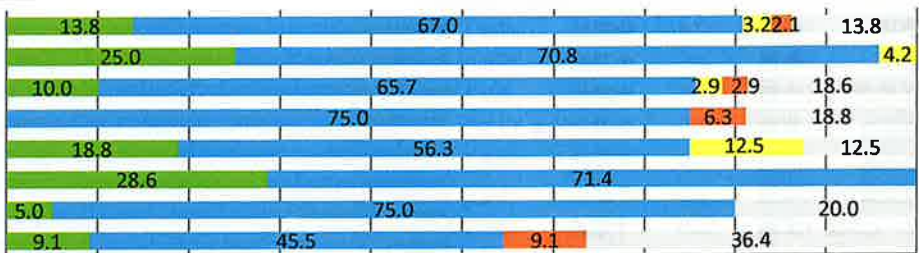


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

来期(2021年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(来期 ▲ 8.5 今期比 6.4)
製造業	(来期 ▲ 20.8 今期比 ▲ 4.2)
非製造業	(来期 ▲ 4.3 今期比 10.0)
建設業	(来期 6.3 今期比 6.3)
小売業	(来期 ▲ 6.3 今期比 18.8)
卸売業	(来期 ▲ 28.6 今期比 0.0)
サービス業	(来期 ▲ 5.0 今期比 20.0)
その他業	(来期 0.0 今期比 ▲ 9.1)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

仕入単価DI

今期(2021年1月～6月)のDI値

(仕入単価)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

来期(2021年7月～12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

従業員数DI

今期(2021年1月～6月)のDI値

(従業員数)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

来期(2021年7月～12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少

今期(2021年1月～6月)のDI値

(設備)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

来期(2021年7月～12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

新規設備投資

◆今期(2021年1月～6月)の新規設備投資を実施した割合



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 行った ■ 行っていない ■ 無回答

◆来期(2021年7月～12月)の新規設備投資を計画している割合



■ 計画あり ■ 計画なし ■ 無回答

	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	0.0%	4.7%	8.3%	5.9%	0.0%	5.6%	0.0%
需要の停滞	① 58.8%	② 29.7%	16.7%	② 29.4%	② 22.2%	② 33.3%	① 50.0%
為替差損	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
売上単価の低下	11.8%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	12.5%
新規参入業者の増加	0.0%	1.6%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
製品(消費者・利用者等)ニーズの変化への対応	③ 23.5%	10.9%	0.0%	11.8%	③ 11.1%	③ 16.7%	12.5%
生産設備の不足・老朽化	17.6%	3.1%	0.0%	5.9%	0.0%	5.6%	0.0%
原材料の不足	11.8%	4.7%	16.7%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
仕入・原材料単価の上昇	52.9%	③ 26.6%	① 66.7%	② 29.4%	① 33.3%	5.6%	0.0%
下請負単価の上昇	0.0%	1.6%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
官公需要の停滞	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
取引条件の悪化	0.0%	1.6%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
金利負担の増加	0.0%	1.6%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
事業資金の借入難	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%
購買力の他地域への流出	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
在庫の過剰	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%	③ 11.1%	5.6%	0.0%
価格への転嫁難	0.0%	6.3%	8.3%	0.0%	③ 11.1%	5.6%	12.5%
人件費の増加	5.9%	12.5%	③ 25.0%	0.0%	③ 11.1%	11.1%	25.0%
設備の過剰	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%
代金回収の悪化	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
駐車場の確保難	0.0%	3.1%	0.0%	5.9%	0.0%	5.6%	0.0%
店舗・施設の老朽化	5.9%	9.4%	0.0%	11.8%	0.0%	11.1%	25.0%
従業員・熟練技術者の確保難	23.5%	21.9%	② 50.0%	11.8%	0.0%	11.1%	① 50.0%
燃料費(電気料金を含む)の高騰	5.9%	4.7%	8.3%	0.0%	0.0%	5.6%	12.5%
コロナの影響	② 52.9%	① 35.9%	8.3%	① 41.2%	③ 11.1%	① 61.1%	② 37.5%
その他	5.9%	9.4%	16.7%	5.9%	③ 11.1%	11.1%	0.0%